

国際活動

東京ガスは、天然ガスに関する豊富な知識と経験を活かして、アジア地域など海外においてガス関連インフラ建設を支援し、それらの地域の経済発展に貢献しています。さらに、海外の同業他社やエネルギー関連団体と提携し、技術と経営に関する情報交換を行ない、効率的な研究開発の推進や戦略立案のための情報収集に努めています。ニューヨーク、パリ、クアラルンプール、北京にある当社事務所はこれらの活動を推進するとともに、海外投資家との橋渡しの役割も担っています。

積極的な国際活動

当社グループは、長年にわたって海外のガス供給インフラ建設プロジェクトに関わっており、数多くの実績を残しています。

マレーシアにおいては、同国初の天然ガス配給事業とガス地域冷房事業を推進しています。この天然ガス配給事業は、1991年に東京ガスの経営管理能力と技術力が評価され、国際入札で落札したものであり、東京ガスとマレーシア国営石油会社ペトロナス社などの合弁会社であるガス・マレーシア社によって推進されています。当事業は、日本のエネルギー公益事業者が国際事業として本格化させた初めてのプロジェクトであり、同様のインフラ開発を検討している他のアジア各国にとってのモデルケースとなって

います。このガス・マレーシア社は、好調な業績を上げており、1999年より配当を開始しました。

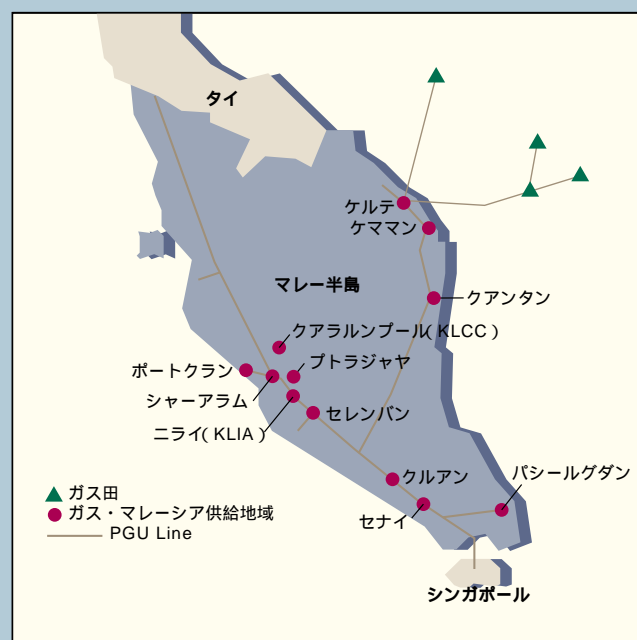
一方、ガス地域冷房事業においても、ペトロナス社との合弁企業ガス・ディストリクト・クーリング社を設立しています。1998年6月に開港したクアラルンプール国際空港は、吸収式冷凍機を採用した世界最大級のガス地域冷房事業です。また、クアラルンプール市内のオフィスビル、ホテルなどの地域再開発事業においても、当社のガス地域冷房技術が採用されています。

さらに、東京ガス・エンジニアリング社では、最近完成した扇島工場を含むLNG受入基地の建設・運営で培ってきた高い技術力を活用して、韓国、台湾、タイ、ポルトガルなどにおいてLNG受入基

20

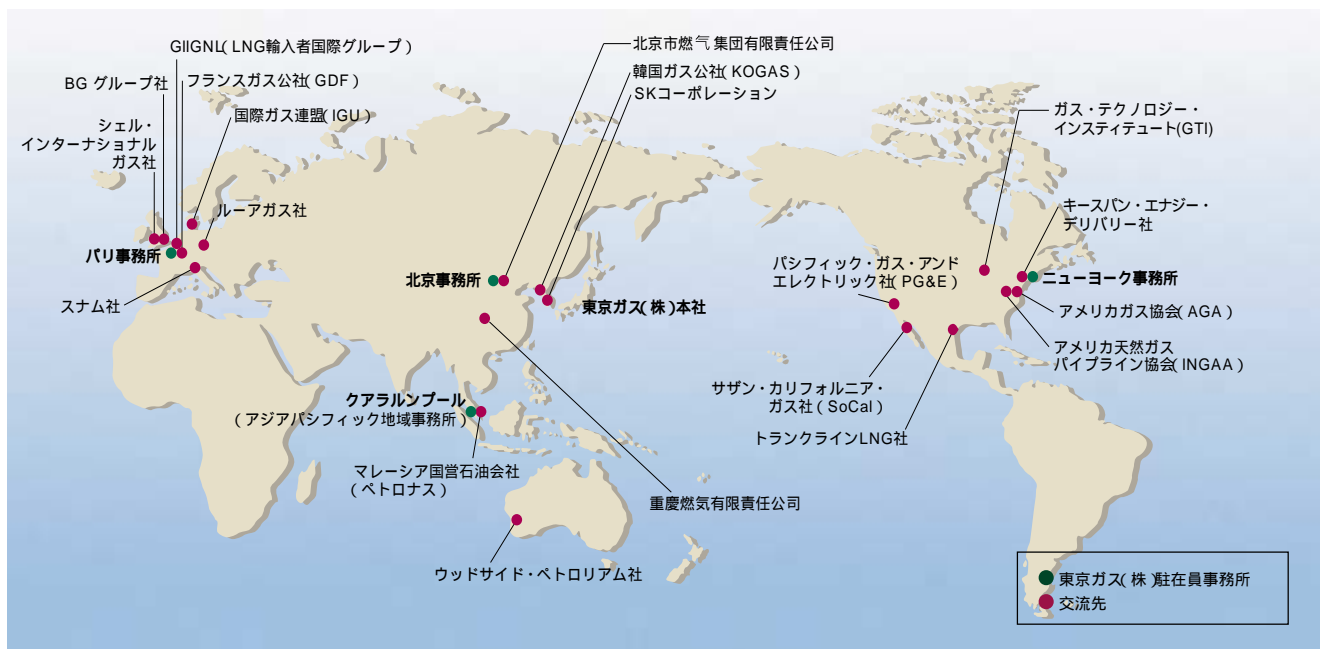


マレーシア天然ガス供給システム



世界一の高さを誇るペトロナスツインタワーは東京ガスの技術援助のもと、ガス地域冷房システムを導入しました。

東京ガス海外拠点および交流先



地建設などの技術支援事業を行なっています。

今後も、国内で培った技術力を活用できる海外ビジネスのチャンスを発掘し、プロジェクトを推進していきます。

国際活動を通じた企業価値の増大

東京ガスは、ニューヨーク、パリ、クアラルンプール、北京の4ヶ所にある海外事務所を通じて、世界中の同業者やエネルギー関連企業、機関と密接な関係を構築しています。これらの企業とは、共同研究、経営・技術面における情報交換、研修生の相互派遣を行っており、こうした関係は、製造・供給やお客サービスを始め

とする当社の事業全般における付加価値の向上に役立っております。また、海外の投資家への情報発信や資本市場における情報収集を行い、経営方針の決定に反映させています。これらの活動の重要性は、日本のエネルギー業界における規制緩和の進展とともに、当社にとってこれまで以上に高まっています。



東京ガスで研修を受ける
ガスマレーシア社の研修生



世界エネルギー会議ドセ事務総長(右)と安西会長(左)